



# 片山かおるの ちょっとカエル通信

2号



## おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

2008年10月25日

### 知ってますか？ 危険なバイオ施設が住宅地に！

米軍府中基地跡地(府中市浅間町)への国立医薬品食品衛生研究所(衛生研)移転計画があることを知ってますか？

この問題については『ちょっとカエル通信1号』で詳しくふれています。HP (<http://katayamakaoru.net/>)にも掲載されていますのでご覧ください。

府中市では市民の不安を伝えた陳情が採択され、10月8日に市民団体と府中市との交渉がありました。

同席して聞くと、府中市は衛生研の移転計画内容をきちんと把握していないようです。

また、移転の説明会を半径1km圏内でも開くよう、1999年には府中市から衛生研に要請していたことがわかりました。これまで衛生研は外周200m内では説明会を開いていません。この要請について追及していなかったことを府中市は陳謝していました。

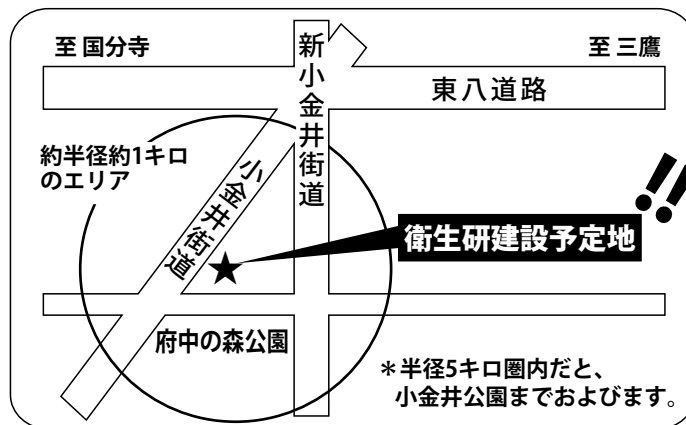
1km圏内だと小金井市も該当します。衛生研は府中市でも、そこで事故があれば、私が住んでいる前原町そして貫井南町も危険地域になるのですから。

小金井市議会でも説明会を求める陳情が、11月11日の総務企画委員会で審議されます。

追加署名も集めています。ぜひ傍聴してください。

米軍基地跡は手つかずのまま残っているので、独自の生態系がつくり出され豊かな自然に溢れています。そばを通るとスーッと涼しい風が吹いてきます。危険な施設にしないで、このままの野生的な自然を残した市民の憩いの場になればいいのに、と思います。

(片山かおる 前原町)

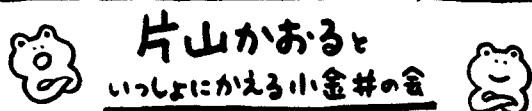


#### 衛生研についての学習会～バイオ施設ってどんなもの？～

日時：11月8日(土) 14:00～16:00  
場所：前原町西之台会館 和室2 (前原町都営住宅内)  
講師：新井秀雄(バイオハザード予防市民センター、代表幹事)

「片山かおると  
小金井を語る会」  
VOL.3 へのお誘い  
11月29日 19時  
丸山台集会所

- ①教育を取り巻くもの — 予算削減の現状
  - ②府中市の衛生研(バイオ施設)移転問題
  - ③コミュニティづくり — 介護現場からのお話、居心地がいい場所って？
- 3つのテーマを軸に、日頃、気になっていることや感じたり考えていることを、片山さんと語り合いましょう！是非、お越し下さい。お待ちしております。(前原町 山内美穂)
- 日時：11月29日(土) 19:00より21:00  
場所：丸山台集会所 (小金井市前原町4丁目18-14)



〒184-0013 小金井市前原町5-16-6  
tel: 042-387-7035 fax: 042-380-8271  
e-mail: kaoru\_09@bds.so-net.ne.jp  
http://katayamakaoru.net

#### 片山かおるプロフィール

1966年12月長崎県生まれ。4才から杉並区で育つ。  
1995年より小金井市在住。連れ合いの水由章と中1と小4の男の子たち、猫たちと前原町に暮らす。8ミリ映画制作。個人・実験映画を配給。  
小金井子育て交流会「す～ぶ」、つくろう！子どもの権利条例の会、8mmFILM小金井街道プロジェクトなどに参加。「教育ってなんだろう？」こがねい連絡会世話人、武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局、One's Eyes Film代表、市民自治こがねい運営委員



# 子どもの貧困と教育格差とは?

小金井の子どもたちの「教育を受ける権利」は保障されているのだろうか。そんな疑問から、就学援助の実態を教育委員会に聞いてみました。

就学援助とは、所得によって「要保護」(生活保護)と「準要保護」(生活保護の1.8倍までの所得制限)にわかれ、学用品、医療、給食費などの援助が受けられる制度です。低所得の保護者にとっては、とても貴重な援助施策です。

しかし、すべての学用品費(学校で集める教材費)ではなく、年11,100円(小1)から23,870円(中3)の一定額の支給なので、学校によっては教材費がオーバーします。

中学の選択科目は教材費にバラツキがあるので、子どもの選択の幅を親の所得によって狭めることもあり得るわけです。就学援助を受けている子は小学校478名(全児童の9.4%)、中学校251名(同11%、いずれも準要保護)にもものぼります。親の所得による格差が出ないように、せめて就学援助の拡充が求められます。

本来は国や都や市の教育予算を増やして、親の所得に関わらず、すべての子どもに無償で充実した「教育を受ける権利」を保障することが、公の大事な役割ではないでしょうか。

## 『子どもの人権講座』大盛況!

10月14日から公民館本館で『子どもの人権講座』が始まりました。私も企画実行委員だった頃から、準備会のメンバーとして講座づくりに関わりました。

第1回の、青木悦さんによる子どもの視点に立った話、思わず涙ぐむ人も。青木さんは小金井の小学校2校のPTAからも講演に招かれているそうです。「“子育て”ではなく、子どもはいっしょに生きていく存在」と聞いて、ハツとする親も多いのでは。

第2回の10月29日には、『子どもの権利条例』が制定されている川崎市の夢パークを見学。11月からは、不登校児の映画、権利条例、特別支援教育など、タイムリーな講演が続きます。ぜひ御参加ください!



※『権利』が取られた『小金井市子ども条例』審議は11月10日(月)13:00からの厚生文教委員会で行われます。

(片山かおる 前原町)



## お知らせ

- ★11月2日(日)第20回武蔵野はらっぱ祭り』(於:武蔵野公園くじら山下はらっぱ)多様な表現を認めあい、参加者みんなであつくりあげのお祭りです。マイ食器・マイコップ持参で秋のはらっぱへ。
- ★11月15日(土)16日(日)『環境博覧会』(於:学芸大、主催:小金井市環境市民会議)小金井市視聴覚ライブラリーより『水からのメッセージ』『ヒロシマ ナガサキ』他、土本典昭監督『水俣その20年』、高尾山圏央道問題の記録などの上映あり。
- ★11月22日(土)14:45~『子どものケータイ・ネット入門』(於:小金井市公民館本館、主催「教育ってなんだろう?」こがねい連絡会)「中学生の中学生による中学生のための携帯ネット入門」を生徒と共につくった大森三中の先生にお話を伺います。



## 「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」(略称:かおるの会)へのお誘い

~みんなで知恵を出し合って、片山かおると共に、これからの小金井の町づくりを考えていきませんか?~  
かおるの会は、「平和」「人権」「民主主義」を基本理念に、市民参加で安心して暮らせる小金井市をつくるために活動しています。

会費は年1口1,000円。カンパも大歓迎!

郵便振替口座 00120-5-357785

加入者名「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」



## 応援

メッセージ

山内智晴

(前原町、自営業)

突然、30年先の未来から手紙が届いた。そこに書かれた日本は、大地震がおり、晴海の五輪会場、9000億円の八ッ場ダム崩壊。原発は事故多発。借金の増加で福祉、教育は自助努力。格差は拡大、食料不足で飢え発生、年金も崩壊。九条は歴史に。手紙の最後に「過去の人たちはどうして事の成り行きをただみていたのか」との問いが。差出人の名は、片山、かえる…っとここで、目が覚め、こうならないよう誓った。

小金井市議会議員選挙は  
来年3月29日投票です。

市議会議員・漢人あきこと  
「市民自治こがねい」も、片山かおるを応援しています